

人と心に響き合う 清恵会グループ広報誌 Human♥Communication

ふれあい

2025 秋号

vol.55

**TAKE
FREE**

ご自由に
お持ちください

私ども、おかげさまで

55周年

になりました、清恵会でございます。

特別企画

清恵会創立 55周年特集

PICK UP!

堺市

けんこうポケット

堺市が開催する健康に関するパネル展をご紹介します！

清恵会 創立 55周年特集



Message
-ごあいさつ-

社会医療法人 清恵会
理事長 森信 若葉

この先もずっと、
地域の皆様とともに。

2025年7月15日、社会医療法人清恵会は創立55周年を迎えました。今回は、地域とともに歩み続けてきた歴史を振り返るだけでなく、当法人の「今」も合わせて紹介します。

初代理事長
佐野 恵



「これまで」について

～コロナ禍を乗り越え、さまざまな改革に着手～

清恵会病院を開設した55年前は、堺市の救急医療は絶対的に不足していました。その状況を改善すべく、**24時間365日断らない体制**を構築し、以来、地域の救急医療に貢献してきました。今現在も、地域の方々の健康と命を守ることが使命であり理念であることに変わりありません。

しかしながら、55年を経て地域の医療体制は充実し、住民の動態、疾患の変化など、清恵会を取り巻く環境も大きく変化しました。そのため、**主軸である救急医療だけでなく、専門医療、回復期・療養医療、在宅支援など、患者様のトータルニーズにお応えできる体制へと拡充**してきました。そして、常に誠意をもって、患者様に寄り添う医療提供を志しているところです。

理事長に就任したのは今から2年前ですが、その直前には清恵会病院の院長としてコロナ禍を迎え、未知のウイ

ルスへの対応と病院としての役割は何かを考え悩む日々を送っていました。ただ、そのような状況下においても、堺市内の各主要病院や医師会の先生方との情報共有の場が増えたことにより、地域の医療機関との協力体制を密にすることができたと感じます。最終的には、職員の理解や頑張りに助けられ病院機能を維持することができました。

その後、理事長就任を機に、**コロナ後の医療需要に対応するため改めて法人内連携の強化を図りました**。コロナ禍で薄れがちだった**施設間・職員間のコミュニケーションを高めることを意識**し取り組んできました。創立55周年を迎えた現在は、**これまで積み上げてきた清恵会の体制を生かしつつ、再編・改革が必要だと考えています**。進行過程ではありますが、立ち止まらずにグループで足並みを揃えて前へ進みたいと考えています。

清恵会の「強み」

～急性期から慢性期まで、切れ目のない医療を提供～

当法人は現在、**急性期医療**を担う清恵会病院と回復期・慢性期医療を担う清恵会三宝病院、**透析専門の向陵クリニック**の3施設と**在宅・介護事業部**を運営しています。患者様の状態に合わせて、継続的な医療を提供できることが強みと言ってよいでしょう。

清恵会病院は、小児を含む**地域の救急医療体制において先駆者的な役割**を担ってきました。現在では、脳卒中ホットライン、整形外科の専門的治療共に堺市医療圏内で常に上位クラスの実績を誇るなど**専門性のある救急医療部門が充実してきた**こともあり、地域の病院や診療所と緊密に連携し、地域の皆様に適切な医療を提供する役割を担っています。

また、小児から高齢者まで、ほぼすべての診療科を揃え幅広い急性期医療を提供するとともに、回復期・慢性期では、清恵会三宝病院、向陵クリニックにおいて長年取り組んできた透析医療、質の高いリハビリを行い、在宅・介護事業部と連携して患者様の在宅復帰へつなげています。

加えて当法人では、未来の医療を担う**人材育成**にも開設当初から力を注いできました。医療専門学校では看護師、放射線技師の国家資格取得へ向けた教育を、病院では臨床研修医、医学生や医療専門職の研修・実習を行っており、多くの卒業生が清恵会のみならず、広く医療人として活躍されています。

「これから」に向けて

～求められる役割をまっとうし、さらに充実の体制へ～

今現在、堺市は人口約80万人を有し、超高齢化社会を迎えています。そうした堺市全体の医療を考えると、**地域の2次救急の受け入れ**が中堅病院である当院の重要な役割となります。また、地域の医療機関からの患者様の紹介をしっかりと受け取り、安心いただける医療を継続するのが使命と考えています。

これからは特に、今後増えると予想される高次医療機関での超急性期治療後の患者様への継続治療を行うとともに、得意とする専門分野については常に先端の医療を目指し、地域を限定せず広く対応していきたいと考えています。また、**急性期から在宅・施設などへ切れ目の**

ない医療のさらなる充実を目指してまいります。

創立55周年を迎えた清恵会は、この先も地域に貢献できる医療環境を整備しているところです。医師をはじめ、職員の働き方や職場環境についても、時代に沿った柔軟な対応が必要であり、医療従事者としての誇りや、やりがいを感じられるような改革を進めたいと考えています。

地域の皆様をはじめクリニックの先生方のお役に立てるよう、時代とともに変わる**ニーズに対応した医療提供**に努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

清恵会のあゆみ

ちょうど、大阪万博が開催されていた1970年7月、堺地域の救急医療に対応するため清恵会病院が開院しました。2025年の今年、社会医療法人清恵会として、同じ万博開催の年に55周年を迎えることとなりました。

救急・急性期医療から在宅医療までをカバーする、総合的な診療体制を整えるまでになった法人の歴史を簡単に振り返ります。

START 1970

1970年 7月 ●清恵会病院開設
(昭和45年) (病床数87床)

1971年 12月 ●医療法人清恵会
(昭和46年) 設立



1975

1975年 9月 ●清恵会高等看護学院開校
(昭和50年) (2年課程・定時制・昼間)

12月 ●清恵会病院第1分院
(人工腎センター)開設 (病床
数23床・透析ベッド20床)

1977年 9月 ●清恵会病院第2分院
(昭和52年) (リハビリテーションセン
ター)開設 (病床数114床)

1978年 3月 ●長野県下伊那郡松川町に
(昭和53年) 学校法人清恵会天竜光洋
高等学校開設

1980

1980年 2月 ●清恵会病院は医療専門学院
(昭和55年) 旧校舎を病棟(東館)として
改造し、460床となる

4月 ●清恵会医療専門学院に
准看護学科の課程を増設

7月 ●滋賀県愛知郡愛東町に
清恵会近江温泉病院開設
(病床数480床)

1983年 6月 ●清恵会病院が救急病院を
(昭和58年) 定める厚生省令に基づく
救急告示医療機関として
認定

2015

2015年 6月 ●清恵会病院が病院機能評価
(平成27年) 「一般病院2：機能種別版
評価項目3rdG:Ver.1.0」に認定

10月 ●社会医療法人清恵会病院が
市立堺病院跡地へ移転
●堺清恵会LDセンター開設
●脳卒中専用集中治療室
(SCU)設置

2019年 9月 ●清恵会向陵クリニックが
(令和元年) 清恵会三国丘クリニック跡地
へ移転(透析ベッド30床)



2020

2020年 1月 ●技能実習生受入開始
(令和2年) (ベトナム2名)

4月 ●清恵会 健診センター開設

7月 ●社会医療法人清恵会
清恵会病院開設 50周年

8月 ●清恵会ケアプランセンター開設

2021年 4月 ●清恵会ヘルパーステーション
(令和3年) 開設



2010

2010年 6月 ●清恵会病院が病院機能評価
(平成22年) 「一般病院Ver.6」認定

7月 ●清恵会病院がDPC対象病院に認定

2011年 6月 ●通所リハビリテーション
(平成23年) 「さんさんデイケア三宝」開設

2012年 12月 ●訪問リハビリテーション
(平成24年) 「きらきら訪問リハ三宝」開設

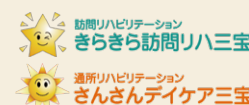
2014年 1月 ●社会医療法人に認定
(平成26年)

2025

2025年 3月 ●清恵会三宝病院が病院機能評価
(令和7年) 「リハビリテーション病院：機能種別版
評価項目3rdG:Ver.3.0」に認定

7月 ●社会医療法人清恵会 55周年

9月 ●(予定)清恵会医療専門学院と
清恵会第二医療専門学院の
統合移転にともない
清恵会医療専門学校へ校名変更



2005

2005年 10月 ●清恵会三国丘
(平成17年) クリニック開設

2000

2004年 10月 ●清恵会病院が基幹型臨床
(平成16年) 研修病院として指定

11月 ●清恵会三宝病院開設
(第1分院・第2分院の統合
病床数300床)

12月 ●清恵会向陵クリニック開設



1990

1993年 3月 ●清恵会近江温泉
(平成5年) 病院を移譲

1997年 4月 ●清恵会訪問看護
(平成9年) ステーション開設

1999年 8月 ●清恵会介護支援
(平成11年) ステーション開設
(2004年4月廃止)



創立55年、清恵会の「今」

創立55周年の節目の年にあたり、私たち清恵会は、
これまでの歩みを振り返るとともに、
「地域とともにある医療」という姿勢を改めて見つめ直しています。
その現状をご紹介します。



特定技能生・技能実習生により 看護体制がさらに充実

2020年1月、看護部では、清恵会創立50周年の年に初めてベトナム籍男性2名の技能実習生を清恵会三宝病院に迎え入れました。
それ以降、コロナ禍による空白があったものの、受け入れを着実に増やしていきました。



Before

2020年1月から
三宝病院で2名が
実習をスタート！

清恵会創立55周年を迎えた今年、特定技能生・技能実習生17名に加え年内中に初となるインドネシア国籍の特定技能生3名の受け入れも決まりました。全員合わせると20名を超える大所帯となります。

皆、大変真面目で、仕事や講習に取り組む姿勢は素晴らしいものがあります。日本語の上達とともにコミュニケーション力も向上し、看護部にとっても頼もしい限りです。



After

地域とともに歩んだ55年 ～清恵会病院の地域連携の歩み～

清恵会病院は、地域の皆様に支えられながら医療を提供してきただけでなく、医療機関としての枠を超え、地域社会の一員として積極的に関わってきました。その一つが、**地域の教育現場での救命講習**です。**近隣の小学校を訪問し、教師や保護者の方々を対象にBLS(一次救命処置)の講習を実施**。万が一の場面で、誰もが命を守る行動ができるよう、知識と技術の普及に努めてきました。



また、堺市が主催する「**堺シティマラソン**」や地域の運動会には、毎年**救護班**として参加しています。**競技中の体調不良やけがに即応できる体制を整え**、参加者が安心して大会に臨めるよう支援しています。この活動は、医療機関としての使命を超えて、地域のイベントを安全に支える取り組みとしても定着しています。



これらの活動はすべて、「**地域の健康を、地域とともに守る**」という清恵会の理念に基づくものです。これからも私たちは、医療を通じて地域の安心と笑顔を支える存在であり続けたいと考えています。55年の歩みに感謝を込めて、そして、これからの地域医療の未来を見据えながら、次の一步を踏み出してまいります。

清恵会で誕生し、当院で働く看護師を紹介！ 生まれた病院で、今度は支える側に。

これまで清恵会病院は、地域の皆様の命をつなぎ守る医療を提供してきました。今年で創立55周年を迎える節目にあたり、当院の産婦人科で誕生し、現在当院で活躍している職員を紹介します。当院で生まれたことを誇りに思い、この地域で育ち地域の皆様を支える姿は、当法人にとっても大きな励みです。



5A病棟
看護師(1年目)



Q 当院で生まれた感想は？

A 父が立ち合っの出産だったのですが、当時、職員の立ち会いはレアケースだったそう。その後、清恵会の看護学校で学び、当院で働いているのもご縁なのかなと思っています。



Q 当院で働くことを選んだ理由は？

A 学生時代、当院で看護補助者を経験し院内のことはある程度理解していたため、慣れた環境で働く方が、自分にとってプラスになるのではと考え入職しました。職員が他職種の方々も含めて話しやすく、相談しやすかったのもありがたかったです。

Q 当院で働いて印象に残っていることは？

A とにかく、スタッフさんがよい方ばかり。所属病棟以外の職員の方とも交流があり、いろいろな方に助けていただいています。

Q 今後の当院での目標を教えてください！

A 職場の皆さんに助けられながら、自分らしい看護を提供できるように頑張っていきたいです！

いのち
生命をまもる 医療をつなぐ/
地域医療ネットワーク

清恵会病院と共に地域の医療を支え合う
医院・クリニックをご紹介します。



医療法人あや菜会 **大浜クリニック**

総合医療を提供するペインクリニック



総合医療で痛みやストレスからの解放を

「医療法人あや菜会 大浜クリニック」院長の池井康人と申します。当クリニックは、「痛み」に対応する総合医療を提供するペインクリニックです。頭痛・頸肩腕痛・腰痛、膝痛などの痛み、带状疱疹(ヘルペス)・血行障害による痛みなどあらゆる痛みに対応してまいります。また、日本抗加齢医学会認定医を取得しており、オプティマルヘルスを目指したアンチエイジング医療を提供しています。当クリニックは今後も、「清恵会グループ」としっかり連携しながら、「痛み・ストレスから解放され豊かな生活を過ごしていただくことが最大の目標であり最大の理念である」との思いを持って適切な医療を提供してまいります。

POINT
01

ペインクリニックの特徴

当クリニックでは、麻酔を用いて痛みを緩和させる神経ブロックによる治療を行っています。症状によっては漢方薬なども用い、医療用ウォーターベッドや低周波治療器、半導体レーザーといった医療機器を用いながら、治療効果を高めていきます。

POINT
02

定期的にご自宅に訪問する在宅医療

地域の方々にご利用いただける在宅医療を提供しています。
医師による訪問診療を軸として、訪問看護ステーション、薬局などと連携し、看護師、理学療法士、薬剤師も患者様のご自宅に定期的に訪問し、看護やリハビリテーション、お薬の説明などを行っています。

医療法人あや菜会 大浜クリニック
TEL. 072-223-0610
〒590-0976
大阪府堺市堺区大浜南町2丁2番16号

診療科目 / 麻酔科(ペインクリニック)、内科、整形外科
リハビリテーション科
診療時間 / 9:00~12:00、17:00~19:00
※時間予約優先制 ※水・木・土曜は午前のみ
休診日 / 日曜、祝日 開院日 / 2002年3月 ※2012年組織改変
ホームページ / <https://oohama-clinic.jp>



堺市

けんこうポケット



Topics 堺市からのお知らせ

堺市では、健康に関する
さまざまなキャンペーンや
イベントを開催しています！

堺市では、さまざまなキャンペーン、パネル展、講座などを開催しています。この機会に、ご自身のからだをチェックしてみませんか？

Information

乳がん啓発パネル展

日時 10月1日(水)~8日(水)

場所 堺市役所 本館1階 エントランスホール階段下

はじめてみませんか？ブレストアウェアネス /
10月は堺市ピンクリボンキャンペーン(乳がん月間)です。ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活習慣)とは、自分の乳房の状態に関心をもち、乳房を意識する生活習慣のことです。日頃から自分の乳房を意識して変化に気づく習慣を日常生活に取り入れましょう。

4つのPOINT

- 1 自分の乳房の状態を知る
- 2 乳房の変化に気をつける
- 3 変化に気づいたらすぐ医師に相談する
- 4 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

check

乳がん月間時には
パネル展やライト
アップなどを通じて
啓発を行います。



詳しくは
こちら



歯と口の健康パネル展

日時 11月4日(火)~10日(月)

場所 堺市役所 高層館1階 ロビー北側

11月8日の「いい歯の日」に合わせて
パネル展を開催します。11月6日(木)
午前10時~11時30分は、歯と口の健康
と栄養の相談を実施しています。



**世界COPDデーに合わせて
パネル展や講座を開催！**

？ COPDとは

たばこの煙等の有害物質を長期に吸入することで生じる、肺の病気(慢性気管支炎や肺気腫)の総称です。

「COPDパネル展」

日時 10月31日(金)~11月13日(木)

場所 堺市役所 本館1階 エントランスホール階段下

「はいかつ講座」 要予約

日時 11月19日(水) 14:30~16:00

場所 堺市役所 本館6階 AB会議室

肺年齢測定も実施します。
予約が必要ですので、詳しくは「広報さかい11月号」をご覧ください。



堺市けんこうポケット

掲載情報に関するお問い合わせ

堺市健康福祉局 健康部 健康推進課
電話：072-222-9936
FAX：072-228-7943

TOPIC 手すりで安全性と自立性の向上を



💡 日常動作の支援やリハビリを実施

清恵会三宝病院では、リハビリや療養目的で入院される患者様のために、**回復期リハビリテーション病棟**、**療養病棟**の両方でリハビリを提供しています。

リハビリは、日常動作の支援が重要です。そこで、当院では普段の生活での「立つ」「座る」といった動作の安定を目指してリハビリを実施。お食事・お手洗い・ご入浴をはじめとする、入院中の日常生活の場でも快適に過ごしていただけるよう、工夫をしています。



患者様の生活をサポートします！

💡 安全、自立、安心の多角的な効果のある手すり

身体機能が低下している方にとって、浴室は床のすべりや服の着脱時に転倒のリスクが高いため、手すりの設置は不可欠です。それにより、リスクが大幅に軽減され、安心して入浴を行うことができます。

転倒のリスクを軽減します！



これからも、患者様が**安心・安全**に過ごせるように心がけてまいります。



手すりによるメリット

介助なしで自立でできることが増え、生活の質を高めます。

- ① 転倒リスクの軽減
- ② バランス保持の補助
- ③ 動作の安定化
- ④ 万が一の支え



診療放射線学科の新たなチャレンジ！ 「STAT画像報告」の取り組みを、 先駆けて講義に取り入れています。



画像診断は現代医療において必要不可欠であり、まさに**医療の「眼」**とも言える分野です。

X線撮影、CT、MRI、超音波など、さまざまな機械を駆使して、患者様の体内で何が起きているのかを鮮明に描き出します。単に画像を撮るだけでなく、その画像から病変を見つけ出し、診断につなげる。このプロセスこそが、診療放射線技師の醍醐味であり、患者様の命を救う第一歩となります。

救急医療現場では、迅速かつ正確な画像診断が患者様の命を左右します。診療放射線技師は、その画像をいかに早く的確に評価し、医師に緊急性の高い情報を伝えるスキルが求められます。その最前線の学びが**「STAT画像報告」**です。



当校では、「STAT画像報告」を先駆けて講義に取り入れ、単に教科書的な知識を学ぶだけでなく実践的な内容に力を入れています。この取り組みにより、卒業生は医療現場で即戦力として活躍できるだけでなく、患者様の命を守る最前線で自信を持って業務にあたれると考えています。

画像診断の世界は奥深く、学べば学ぶほどその面白さに引き込まれます。当校では、将来、医療現場の最前線で活躍したい皆さんをお待ちしております。



🔍 「STAT」とは

「至急」を意味するラテン語「statim」に由来し、医療現場では**一刻を争う緊急性の高い状況**を指します。

「STAT画像報告」の講義内容

- **緊急性の高い疾患の画像所見**
脳出血、大動脈解離、気胸、腸閉塞など、緊急を要する疾患の典型的な画像所見を徹底的に学習
- **迅速な画像評価のトレーニング**
膨大な情報の中から、緊急性の高い異常所見を素早く見つけ出すための視点とスキルを養成
- **効果的な医師への情報伝達**
限られた時間の中で、最も重要な情報を簡潔かつ正確に医師に伝えるためのコミュニケーション方法を修得



清恵会グループのご紹介

法人本部

清恵会病院

- 急性期機能病院
〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁1番1号
TEL 072-223-8199(代)



清恵会訪問看護ステーション

- 訪問看護・訪問リハビリテーション
〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁1番1号
清恵会病院8階
TEL 072-232-6074

清恵会ケアプランセンター

- 介護相談・ケアプラン作成
〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁1番1号
清恵会病院8階
TEL 072-238-6860

清恵会ヘルパーステーション

- 訪問介護・生活支援サービス
〒590-0065
堺市堺区永代町2丁3番9号
TEL 072-320-9055

清恵会三宝病院

- 複合型慢性期機能病院
〒590-0903
堺市堺区松屋町1丁4番地の1
TEL 072-226-8131(代)

さんさんデイケア三宝

- 通所リハビリテーション

きらきら訪問リハ三宝

- 訪問リハビリテーション
〒590-0903
堺市堺区松屋町1丁4番地の1
清恵会三宝病院 介護事業部
TEL 072-225-0066

清恵会向陵クリニック

- 人工透析外来
〒590-0024
堺市堺区向陵中町6丁4番10号
TEL 072-257-3131

清恵会医療専門学校

- 看護師・診療放射線技師養成校
〒591-8031
堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地
TEL 072-259-3901



新コーナー!

堺市

けんこうポケット

好評掲載中!

54号からスタートした新コーナー『堺市けんこうポケット』は、今回で2回目。

大切なものを詰め込むポケットのように、堺市の健(検)診や楽しいイベント、ヘルシーで美味しいお店、健康にまつわる情報などを、ぎゅっと詰め込んでお届けしております!



今号の
「堺市けんこうポケット」は
P8をチェック!

 社会医療法人 清恵会



清恵会



<https://seikeikai.or.jp>

